

---

## 中国信息 (WTO/FTA・貿易・安全・その他)

---

2008年3月27日号

◎2008年2月トウモロコシ市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年2月におけるトウモロコシ市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

### 1 トウモロコシ輸入は大幅減、トウモロコシ粉輸出は大幅増

海関統計によると、2008年1月のトウモロコシ輸出量は、前年同月比98.3%減の15,822トンとなった。主要輸出相手国はイギリス、スイスおよび北朝鮮で、伝統的な輸出相手国である韓国、日本およびマレーシアへの輸出はなかった。主要輸出省は依然として東北三省のみであった。同じくトウモロコシ輸入はすべて米国からで、その輸入量は前年同月比72.6%減となった。トウモロコシ粉の輸出は大幅に増加し、前年同月比86倍増の1.71万トンとなった。

### 2 国内のトウモロコシ価格は安定方向へ、前月比では小幅に上昇

2008年2月の国内生産地におけるトウモロコシ平均卸売価格は、1トン当たり1,638円で、前月比1.3%高、前年同月比15.2%高となった。うち華北黄淮（黄河・淮河流域）産地の平均卸売価格は1,700円で、前月比2.2%高、前年同月比17.8%高となった。東北の産地価格の下落速度は緩やかになり、平均卸売価格は1,493円で、前月比0.1%安、前年同月比9.9%高となった。消費地におけるトウモロコシ卸売価格は1トン当たり1,953円で、前月比2.0%高、前年同月比16.8%高となった。

### 3 世界のトウモロコシ消費は急速に増加、需給ギャップが進展

2007年の世界のトウモロコシ生産量は増加したものの、依然として急速な消費需要の増加を満足させるまでには追いついていない。米国農務省（USDA）の2月の予測によると、2007/08年度の世界のトウモロコシ生産量は、前年度比8.8%増の7.66億トンで、史上最高を更新するとみられている。世界のトウモロコシ消費量は引き続き急速に増加し、前年度比7.1%増の7.71億トンと見積もられている。生産が需要に満たないため、期末在庫量は5.0%減の1.02億トンまで減少し、在庫消費比は13%と予測されており、引き続き安全水準を割るとみられている。

### 4 国際価格は引き続き上昇、内外価格差も引き続き拡大

国際原油価格が高水準で下落の気配がなく、バイオ燃料需要が世界的に強い動きを示しており、トウモロコシ消費が引き続き増加することに加え、2008年は米国のトウモロコシは種面積が大幅に減少するとみられていることから、トウモロコシの国際価格は大幅に上昇するものと予測されている。2008年2月の米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシの平均離岸価格（本船渡し価格＝FOB価格）は220ドルで、前月比7.1%高、前年同月比24.5%高となった。

トウモロコシの国際価格が大幅に上昇したことから、国内港における内外価格差は引き続き拡大した。広州の黄埔港では、2月の米国産トウモロコシの通関渡し価格（Duty Paid: CIF+関税等）が、同時期の国産トウモロコシの国内港到着価格よりも、1トン当たり1,100元以上高くなり、前月に比べ300元以上価格差が拡大した。